

令和4年度 那覇西高校学校評価表集計結果と考察

職員・生徒・保護者・学校関係者を対象に、以下の内容について令和4年度学校評価を実施した。評価は各項目において、1:そう思う 2:ほぼそう思う 3:あまりそう思わない 4:そう思わない(保護者、学校関係者については5:わからないを追加)を選択する方法で行った。肯定的な評価「1」「2」及び「5」を選択した割合を下記に示し、考察結果をまとめた。

【回答数】 職員:50人 生徒:939人 保護者:377人 学校関係者(PTA役員・学校評議員):6人

I. 経営目標・経営計画								
項目	番号	内 容	1・2を選択した割合(%)			保護者3・4を選択した割合(%)	保護者5を選択した割合(%)	1・2を選択した数 関係者(人数)
			職員	生徒	保護者			
経営 目標 教育 計画	1	校訓「じりつ」の精神の育成に努めている。	75.0%	81.9%	76.9%	11.9%	11.1%	6名中/6名
	2	文武両道の進学校を実践している。	47.5%	67.5%	75.1%	19.6%	5.3%	6名中/6名
	3	凡事を徹底し、態度教育を実践している。	82.5%	86.6%	76.7%	11.1%	12.2%	6名中/6名
	4	保護者・同窓会・地域との連携が密で学校として信頼されている。	62.5%	84.7%	82.8%	7.7%	9.5%	6名中/5名
	5	各部、学年の先生方が協力して生徒の指導に当たっている。	80.0%	90.5%	77.7%	9.0%	13.3%	6名中/6名
	6	3学科の特性を生かした特色ある取り組みを行っている。	90.0%	88.9%	77.7%	9.8%	12.5%	6名中/6名
	7	本校は部活と学習活動の切り替えが出来ている。	40.0%	74.7%	71.9%	16.2%	11.9%	6名中/5名
	8	本校の校風は、伝統を受け継ぎ、秩序正しく品格が備わっている。	72.5%	87.4%	77.2%	10.6%	12.2%	6名中/6名
<p>校訓の実現や凡事徹底教育、協力した生徒の指導体制、3学科の特性を生かした取組などが概ね高く評価されている。一方で、文武両道の進学校の実現や部活動と学習活動の切り替えについては、他項目に比較して評価値が低くなっているため、学習方法や学習時間の確保について研究を要する。その他、保護者・同窓会・地域との連携や信頼度に関する質問項目については、生徒及び保護者と職員との評価において20%程度の差が見受けられる結果となっており、特に職員について、業務内容を互いに周知する必要がある。</p>								
II. 教育課程・教科指導								
教育 課程 教科 指導	9	本校の教育課程(授業科目等)は生徒の実態に合わせて考えられている。	67.5%	81.6%	70.8%	12.7%	16.4%	6名中/5名
	10	本校は学習規律が整っており、安心して授業を受ける体制ができている。	90.0%	86.6%	83.0%	7.2%	9.8%	6名中/6名
	11	本校の先生方の授業は工夫されており、わかりやすい。	97.5%	78.1%	57.8%	19.6%	22.5%	6名中/4名
	12	教科「情報」以外の教科(国語や数学等)において、情報機器、視聴覚教材を利用した授業が充実している(プロジェクターを使用した授業等)。	72.5%	80.2%	53.6%	9.5%	36.9%	6名中/4名
	13	生徒の家庭学習習慣が定着している。	12.5%	42.8%	45.4%	53.3%	1.3%	6名中/3名
	14	生徒は図書館から本を借りて読んでいるようにみられる。	37.5%	30.5%	20.7%	67.4%	11.9%	6名中/2名
総合的な 探究の時間	15	「総合的な探究の時間」は充実している。	65.0%	73.1%	49.6%	13.8%	36.6%	6名中/3名
特別 活動	16	学校行事が充実している。	90.0%	87.9%	82.2%	12.7%	5.0%	6名中/6名
	17	生徒は、クラスや部活に居場所がある。	95.0%	93.7%	87.3%	8.8%	4.0%	6名中/5名
<p>項目別では、安心して授業を受けられる体制や学校行事の充実、学校内における居場所作りについて、3者から概ね高い評価を得ている。しかし一方で、家庭学習習慣の定着や図書館利用については、教師、生徒、保護者ともに肯定的意見が50%未満となっており、評価が低くなっていることから、今後導入予定の学習アプリも活用した学習習慣の定着が課題である。その他、視覚教材の利用や探究学習について、保護者の意見が低い傾向にあるが、「わからない」との回答が約37%となっており、コロナ禍で近年授業参観が実施出来なかった影響も見受けられる。</p>								
III. 教科以外の指導								
生徒 指導	18	本校はいじめや暴力が生じないような指導を行っている。	95.0%	94.9%	75.3%	7.2%	17.5%	6名中/4名
	19	本校の生徒は頭髪、服装面等しっかりしている。	90.0%	89.4%	89.9%	6.1%	4.0%	6名中/6名
進路 指導	20	早朝講座が充実し、学力アップに繋がっている。	42.5%	43.2%	55.9%	32.2%	11.9%	6名中/4名
	21	一人一人にあった進路指導が組織的に行われている。	82.5%	78.0%	52.0%	19.4%	28.6%	6名中/4名
	22	課外講座、模試が充実している。	90.0%	86.4%	58.9%	18.6%	22.5%	6名中/5名
	23	大学進学率や進路決定率は保護者や生徒の期待に込えている。	82.5%	85.2%	58.9%	13.5%	27.6%	6名中/5名
健康 安全 指導	24	事件・事故の防止や防災計画が整備され、生徒の安全確保に適切に取り組んでいる。(危機管理体制が完備されている。)	77.5%	91.3%	67.4%	4.8%	27.9%	6名中/4名
	25	生徒の心身の健康管理に努めており、相談しやすい雰囲気がある。	92.5%	80.2%	63.9%	13.5%	22.5%	6名中/6名

人権侵害防止	26	職員や部活動指導者に日頃の指導は、生徒の人権に配慮した対応になっている。	82.5%	89.4%	70.8%	10.9%	18.3%	6名中/5名
環境美化	27	校内緑化を推進している。	77.5%	87.2%	69.2%	9.5%	21.2%	6名中/6名
	28	トイレの清掃や教室の整理整頓の指導ができています。	60.0%	58.8%	54.4%	13.5%	32.1%	6名中/5名
家庭地域との連携	29	本校職員以外の人材を活用した授業や講演等が行われている。	70.0%	81.3%	46.9%	10.3%	42.7%	6名中/3名
	30	持ち帰り指導が徹底し、プリント（お知らせ）が保護者へ届いている。	35.0%	81.5%	71.9%	24.4%	3.7%	6名中/4名
	31	学校と保護者、地域の情報交換の場が設定されている。	55.0%	72.1%	46.7%	22.5%	30.8%	6名中/4名
<p>昨年同様、生徒指導面については、職員、生徒、保護者ともに概ね高く評価されている。進路指導面では早朝講座について、3者とも評価が低くなっている。その他項目21～23について、教師・生徒と保護者間で評価が分かれているが、保護者で「分からない」とした回答が22～29%あり、保護者が判断に迷った影響が現れている。また、トイレ・教室美化についても他項目に比べ評価がやや低い傾向がある。その他、学校から生徒を通じたプリント等の託送について、教師と生徒・保護者間で大きなズレが見受けられる。必要な情報が保護者に提供されていないことが推察されるなど、情報提供体制について課題があることを伺わせる結果となっている。</p>								